

坂本竜太郎氏(新人)初当選



ダルマに目を入れる坂本氏＝27日午後10時58分、平字十五町目の選挙事務所

新福島4区の議席獲得

「浜通りの声を国へ」

第50回衆院選は27日、投開票日を迎え、新たな区割りとなった福島4区(いわき市を含む浜通り全体)では、自民党新人で元県議の坂本竜太郎氏(44)が、公明党推薦が、8万5751票で初当選を飾った。立憲民主党新人で会社社員の斎藤裕喜氏(45)が、社民党県連推薦は7万8708票、共産党新人で党いわき・双葉地区委員長の熊谷智氏(44)は1万9879票で及ばなかった。

坂本氏は27日午後10時45分すぎ、当選確定の一報を受け、平字十五町目の選挙事務所に着。詰めかけた関係者と万歳をし、ともに喜びを分かち合った。東日本大震災・東京電力福島第一原発事故からの復興に対しては「浜通りからこの国の確かな未来を切り拓いていく覚悟」と強調し、何があってもぶれずに住民の声を届けていくと約束した上で、政治改革に向けても不断の努力を誓った。

坂本竜太郎氏って、どんな人?

44歳(1980年3月28日生まれ)

いわき市植田町出身

磐城高校、中央大学法学部卒 市議1期、県議2期

県少林寺拳法連盟、県ライフル射撃協会の各顧問

県ラグビーフットボール協会副会長

市ラグビーフットボール協会会長

父は衆院議員通算7期の故剛二氏で、政治改革に尽力した姿を幼いころから目の当たりにしてきた。

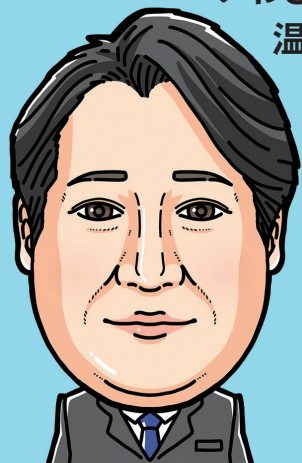
座右の銘:千里同風

(たとえ千里離れた土地であっても、同じ風が吹いている。転じて天下泰平を意味する)

趣味:旅行、音楽鑑賞

いわき市植田町に母と2人暮らし

温かな表情が持ち味の愛されキャラ



「アップグレード浜通り」
廃炉・処理水海洋放出・
除去土壌県外処分の
完遂を果たす。